
An aerial photograph of a residential area in Kamakura, Japan. The image shows a circular road with a white dashed center line, surrounded by dense green trees and several buildings. The text is overlaid on the image.

秋の鎌倉 遠足 ハイキング。  
行って、楽しんで、話して、  
考えよう。[野村総研跡編]

50名ほどの参加者との対話から見た、あるべき姿

仮称) みんなのまちづくり協働組合



P.3 **きっと僕らはみんなの声が  
つくる未来に参加できる**

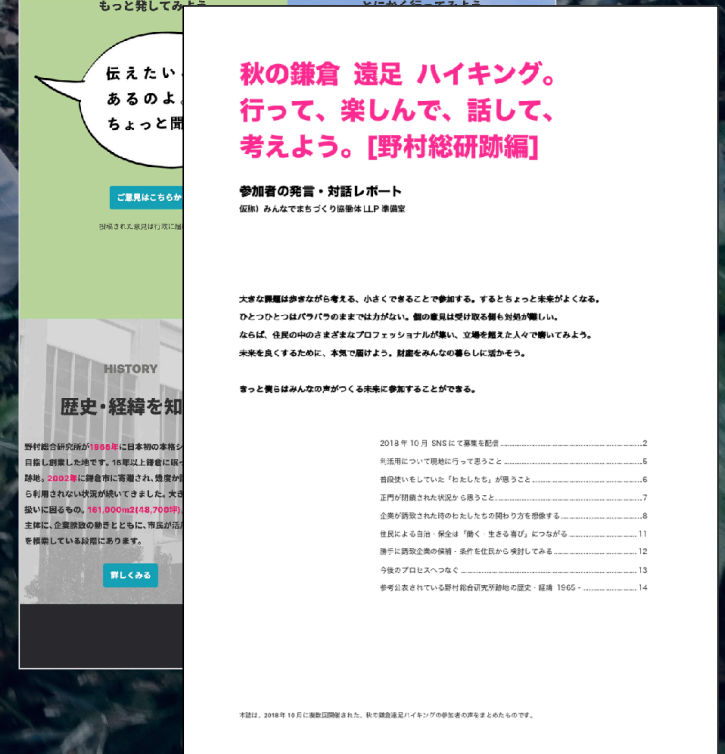
50名ほどの参加者との対話から見えたあるべき姿

P.14 仮称) みんなのまちづくり協働組合  
わたしたちは、協働事業を実現し、加速する

P.20 素玄 (SOGEN)  
わたしたちは、暮らしと仕事をつなげてデザインする

# きっと僕らはみんなの声がつくる未来に参加できる

50名ほどの参加者との対話から見たあるべき姿



発言・対話内容と現地の歴史的経緯は、別紙レポートを参照ください。

## 大きな場所だからこそ、小さく始めようか



カフェを一緒にやらないか。そこでカフェでお茶を淹れてくれるのは近所のお母さん。  
オーナーはここを使う企業。向こうのテーブルでは、企業のスタッフと住民とが新しい商  
品開発について話をしているね。山側からハイカーもやってきたよ。  
——地域の人との協働も、地域貢献も、小さく一緒に行うことができる。

ひとつの団体に抱えるべきでない。

シェアはますます加速する

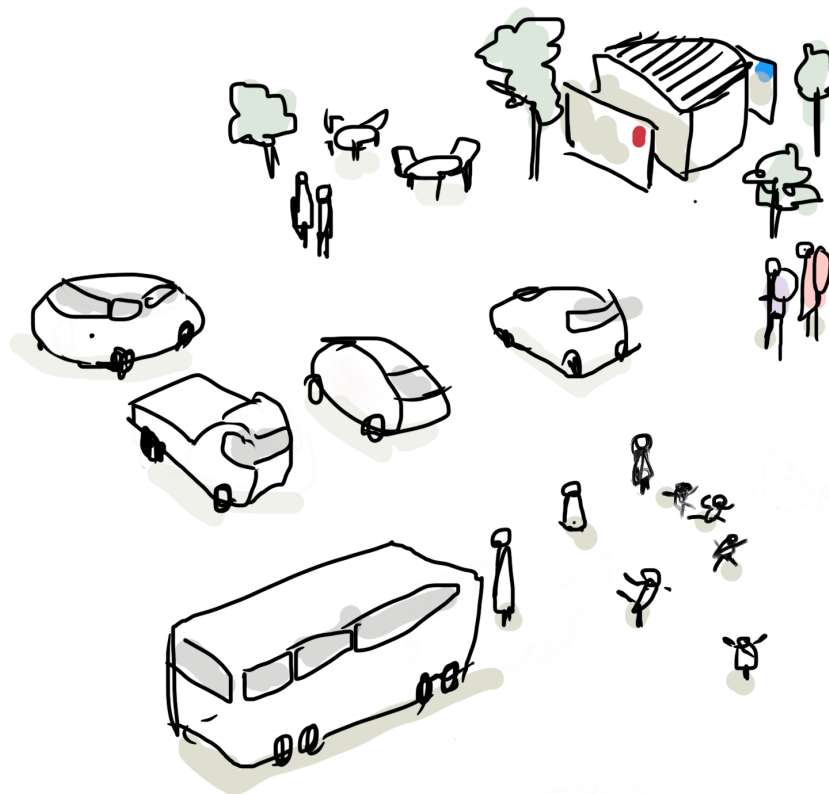


大きすぎる問題に対して、ひとりの人間が扱いきれないように、現時点では、企業規模に問わず、ひとつの企業では難しいのではないか。

複数の企業や市民を交えた共同利用であれば豊かな場所となる。

これからも車で行ける冒険遊び場として解放してほしい。

自然の遊びは大人も子供も必要だ



たった1年でこれだけ生い茂り、なんだかわからない場所になってしまうなんて衝撃だ。  
維持管理に協力したい。駐車場とトイレが解放されていることで、みんなで遊ぶにも最高の場でした。近い将来、無人運転の自動車が送り迎えしてくれるかも知れないね。  
——お願いします。直近も未来もこれまで通り使える開放エリアを設けてください。

ちょっとはみ出せ！自由特区。自己責任力と自治管理能力で育てよう

## 立入注意

古い橋桁や建物ですので  
頭上や足元にご注意ください



いつだって「大丈夫」なんて言えない。絶対事故が起きないなんて。けれど、禁ずるのがゴールじゃない。自己責任で、危険を認識する機会を用意することは大事なこと。「はみ出せる」グレーな場を求めたい。

- 立ち入り注意の喚起看板の設置は開通後も設置するべきか。みんなの手製でも
- 焚き火やドローンがNGなのも残念。特区として認める場となれば良いのに
- グランピング施設を作ってほしい。管理人として働きたい。子供も山で遊ばせたい！

## アウトドアに感度の高い企業だと最高だよ



各地のアクティビティに応じた展開をしっかりと行なえるスポーツ・アウトドア系の連合だと自然についても考えが見えるし、地域との相性も良さそう。日常の遊びも理解があるだろうからライフスタイルも変えられるよね。スラックライン、キャンプ、ランニング、ハイキング、トレイルランニング、ロッククライミング、グランピング、森林栽培など敷地内の自然の生かし方。地元の美味しいものが供されるとちょっとした村のような活動幅が想像できる。働きたいし、遊びたい。健康に。若年層も気になるよね。



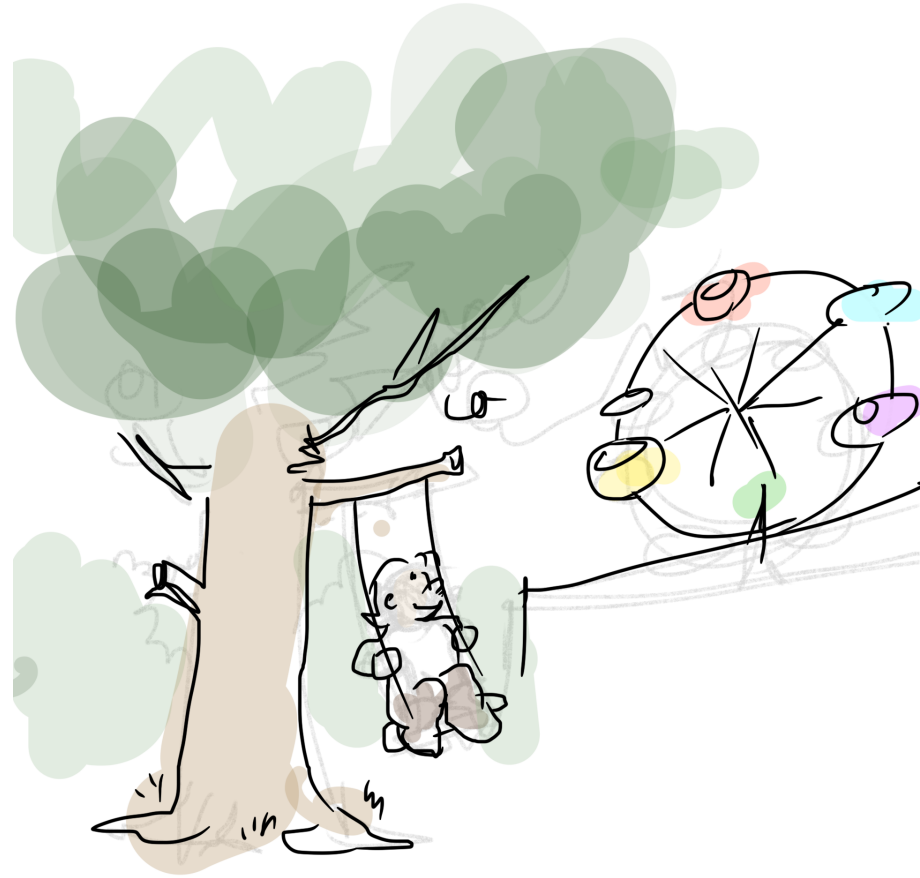
## 少し不便だっていい。不便さにこそ価値がある



図書や発掘史跡・文化の公開施設としても利用できるのではないかと。屋上からの眺めを多くの方が楽しめれば…ヨーロッパの図書館みたいにキッズスペースがあったり、お年寄りにはタダで飲めるコーヒースタンドがあったり、セルフの食堂スペースがあったり。交通問題について考えを持った企業であれば対策を共に考えられるだろう。利便性の高い場所に分署を持ち、少々行きづらい場所であっても、マニアックな資料を収め、博物館的な機能も持つのはありなのではないか。今世紀、書店や図書のあり方が変わってきたように。利便性と土地性は今後さらに変わっていく。

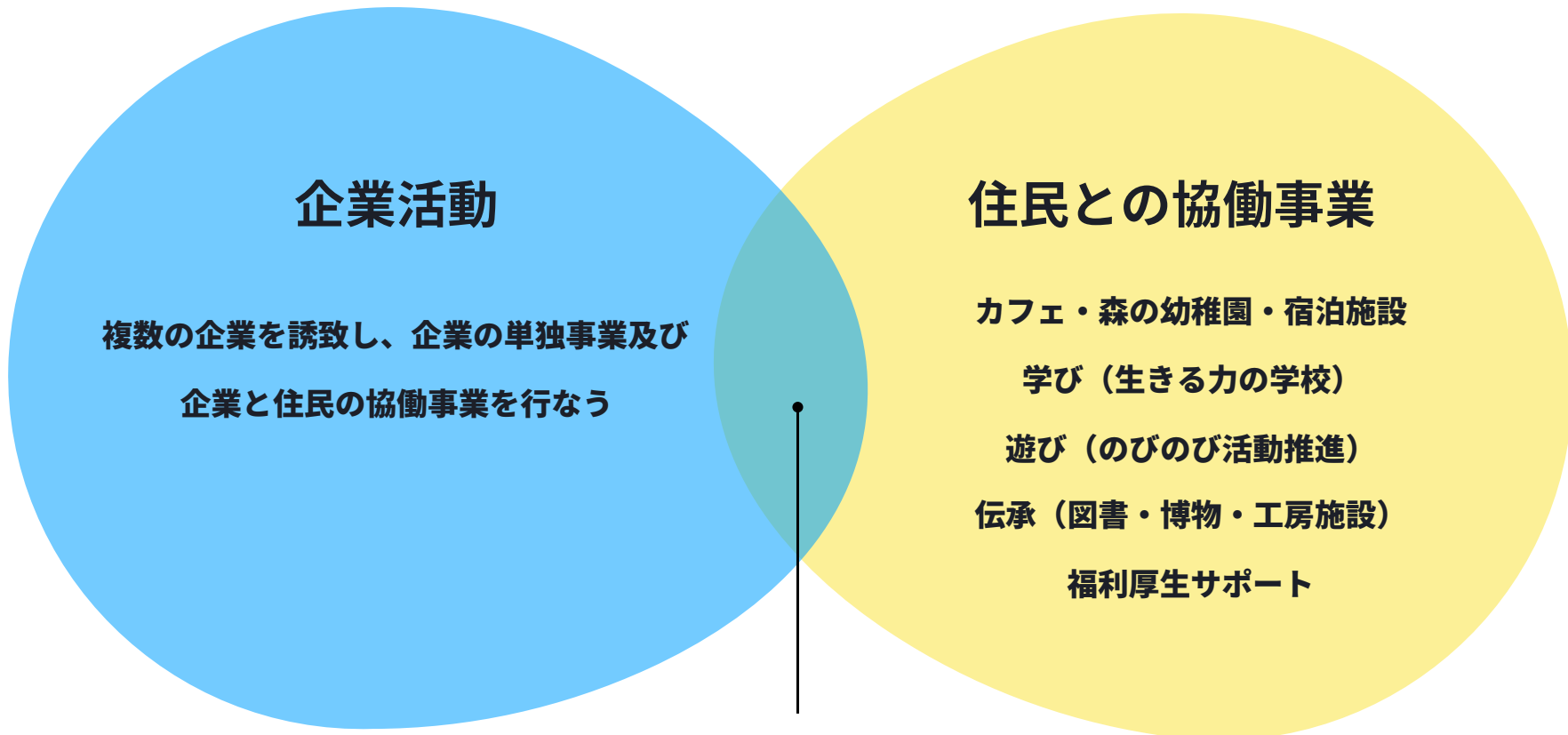
温泉や、周囲と離れたリゾートもいい。Wi-Fiも入らないからこそ人気の施設もある。

ブランコがあるといいなあ。観覧車もできるの？  
幼稚園？そこで先生をできる人もたくさんいるね



森のようちえん。教えることのできる人はすでにいる。他に何がほしい？モノレールが延  
伸したらよいの？観覧車も？ああそれは鎌倉で一番いい眺めになるね。

# 野村総研跡地に未来をみんなで作る、**仮) 生きるカヴィレッジ**



## 住民と企業の協働事業を生み出していこう

サービス利用での住民との協働。食堂・福利厚生・研修施設・第二の人生研修・インターン研修・企業研修・住民マーケティングリサーチ・住民とのオープンイノベーション等

**SDGsの見えるカタチ化事業**

社会課題・地域課題は、行政・企業・地域・住民が共に取り組むことができる課題がたくさんある。地域の自給化を含む事業を、住民と法人をはじめとしたステークホルダーそれぞれのニーズをマッチングさせ、事業を作るシステムを整え、カタチにする。

**セカンドライフ研修サポート**

退職後・独立後のセカンドライフプログラム。当人と地域と企業とが適切なタイミングで協業を行うサービス。都心部へ通勤していたエキスパート向けに、退職・定年後の地域活動及び地域事業に参入する際の、適性選択を含めた共創環境を用意。

**企業のCSR・福利厚生サポート**

企業の福利厚生施設を住民が運営する。住民による食堂や健康管理部門を用意し、外部の人もビジター利用を行う。企業と地域の社会関係をつなぎ、地域の仕事を活性化させる。

# 生きるカヴィレッジでの共存と協働。企業×住民×環境

1

## 企業も住民も活かすべき広大な自然をさらに活かそう

自然のなかにある野村総研跡地。鎌倉市有数の景観とともにあり、立地は城跡のような高台だ。特に駐車場を備えていることから、住民にとっても、鎌倉市有数の自然への接点である。特にトイレと駐車場は早々に利用できる状態にしていただきたいという声が多い。

2

## 開くことで協働利活用を生み出せる場をつくろう

一企業だけが占有するには勿体無いほどの価値と可能性がある。複数の企業・行政・住民が協働参画し、多くの課題と可能性に取り組むために開かれた環境であってほしい。住民観点でも地域の自給力と価値を高め、小商いを育て、お金を巡らせる機会をつくることのできるはずだ。

3

## 生きる力で、伝承と最新技術と共にくらそう

誰しもが持つ「よりよく生きる基本的な能力」としての生きる力。生きる力を自由存分に発揮し、本来の身体感覚に気づく。自然の中で、文化・くらし・しごと・学び・遊びが共存することで未来に生きる。オトナも子どもも遊び心にあふれる環境にくらすことで、古き良きものを伝承し、最新の技術と共に生きる。これからのプロフェッショナルの生き方を変えていく。

参考

鎌倉市公的不動産利活用推進方針(2018/3)によると、自然環境を生かした利活用(市民への開放を含む)と企業誘致を目指すことあり、郊外の環境の良い、ゆったりとした場所(豊かな緑に囲まれた広大な敷地)という立地を生かした高度な研究・開発系等の企業誘致(求心力の高い企業を選定)により、「働くまち鎌倉」の実現を目指すことが指針として書かれている。

**問題が起きる前に、動ける住民たちが、提案し続けるしくみが必要だ**



# 仮称) みんなのまちづくり協働組合

わたしたちは、協働事業を実現し、加速する

**設立準備中!**

「Public×Business×Private」 3つのマインドを備えたオトナたちが

共感・オープンネス・リスペクトと愛をもって

商い・暮らし・学びを通して生きる力にあふれた世界に参加する

**私たちは（きっとあなたも）  
パブリック×ビジネス×プライベートマインドで  
地域・社会・未来に参加する**



地域自給力の向上

小さくお金が巡るしごと

ワクワクする商いと学び

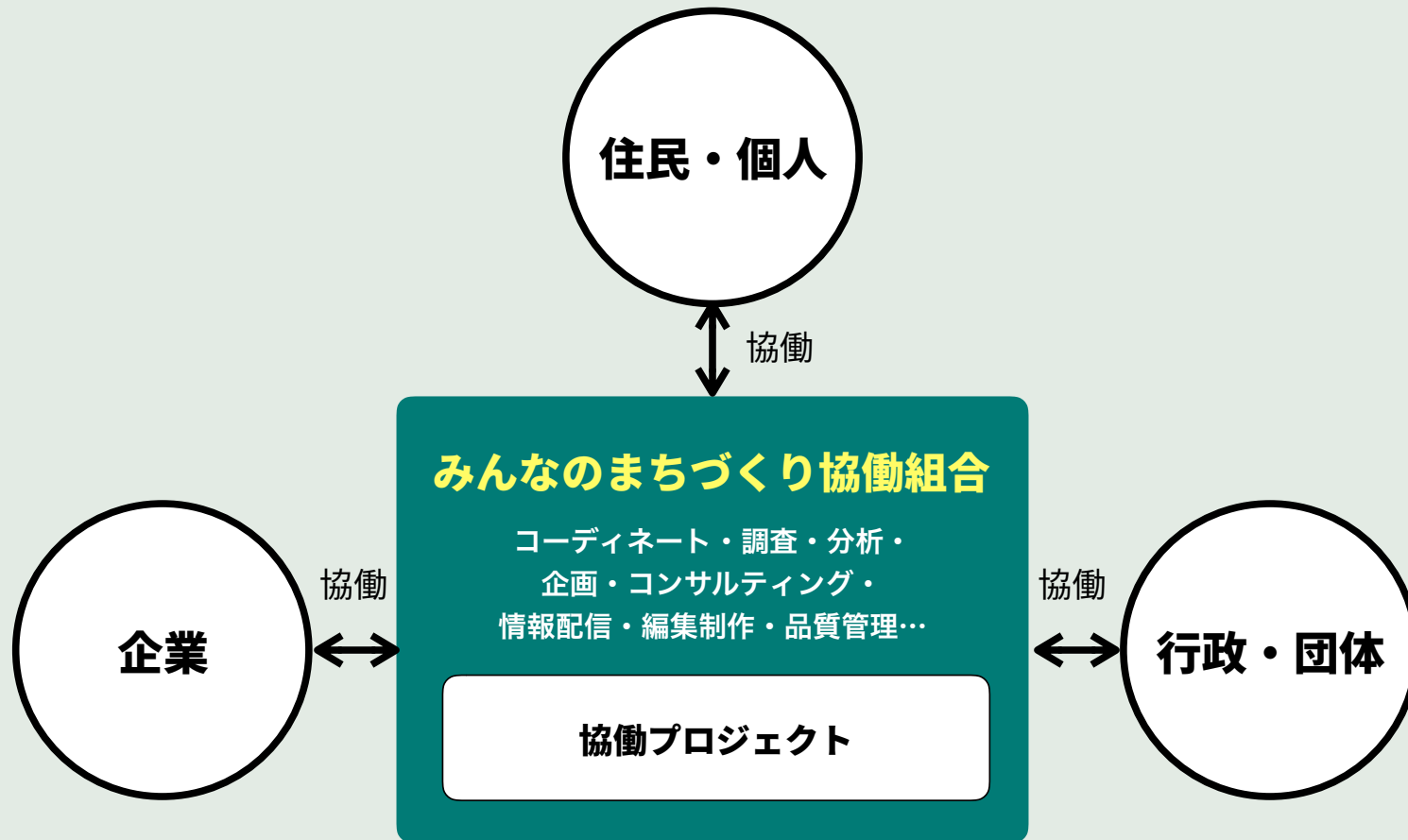
地域のもったいない資源の活用

プロフェッショナルリティの共助

健やかなくらし

私たちそれぞれが持つ「生きるチカラ」で、  
楽しく元気をつくり、価値と質を高め、未来を良くしよう

# 私たちは（きっとあなたも）協働でチカラを発揮する



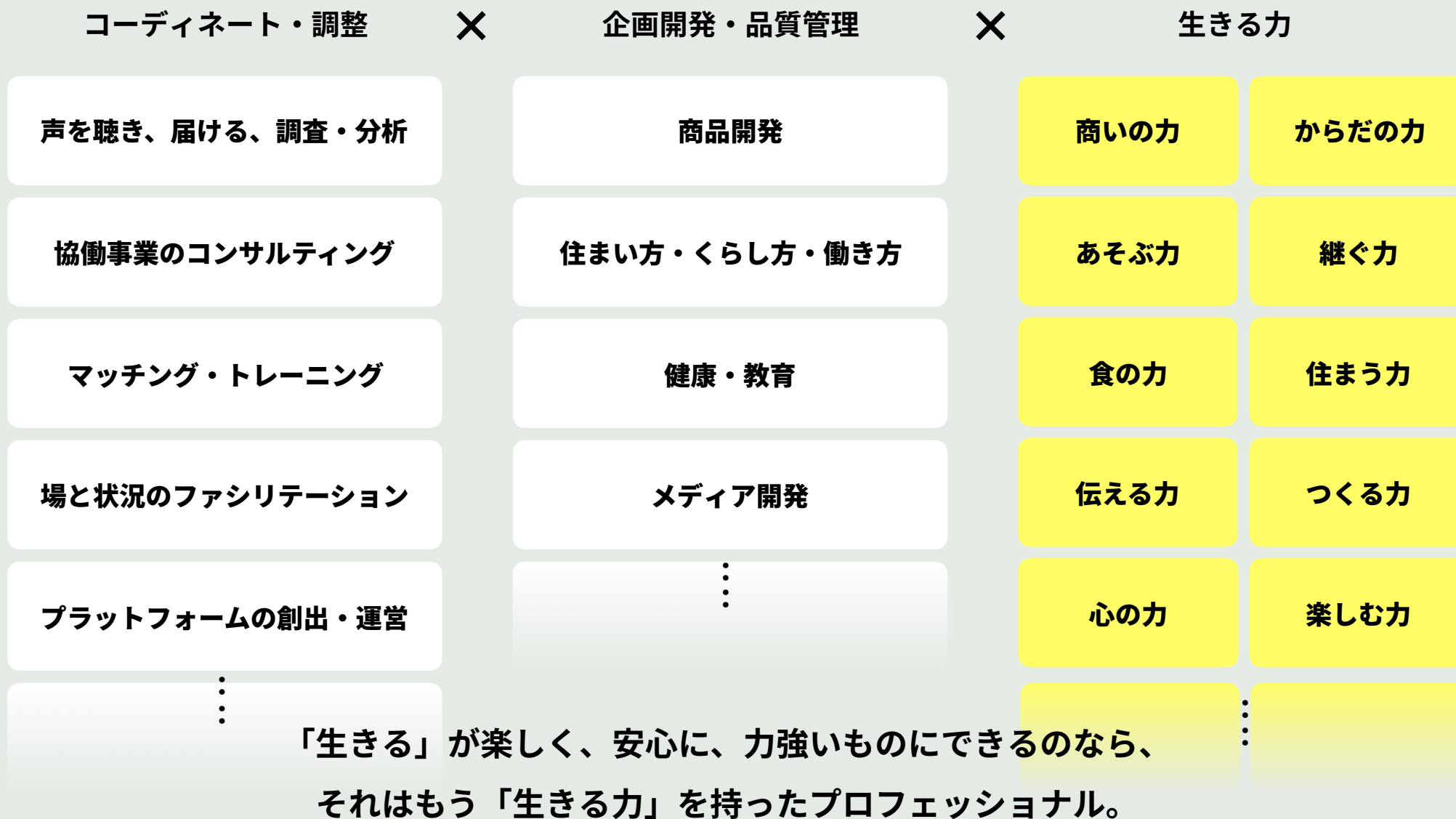
私たちは地域の課題解決に参加する中立の個の集団。

個が生き、つながりと力を発揮できる環境をつくろう

「地域活動のコーディネート」で、垣根をこえよう。ひとつのことが得意な地域活動も、良い組織も、人も、沢山います。今、必要なのは、つながるコーディネート。行政や組織の垣根を超えて「地域や人のつながる商い」を生み出します。



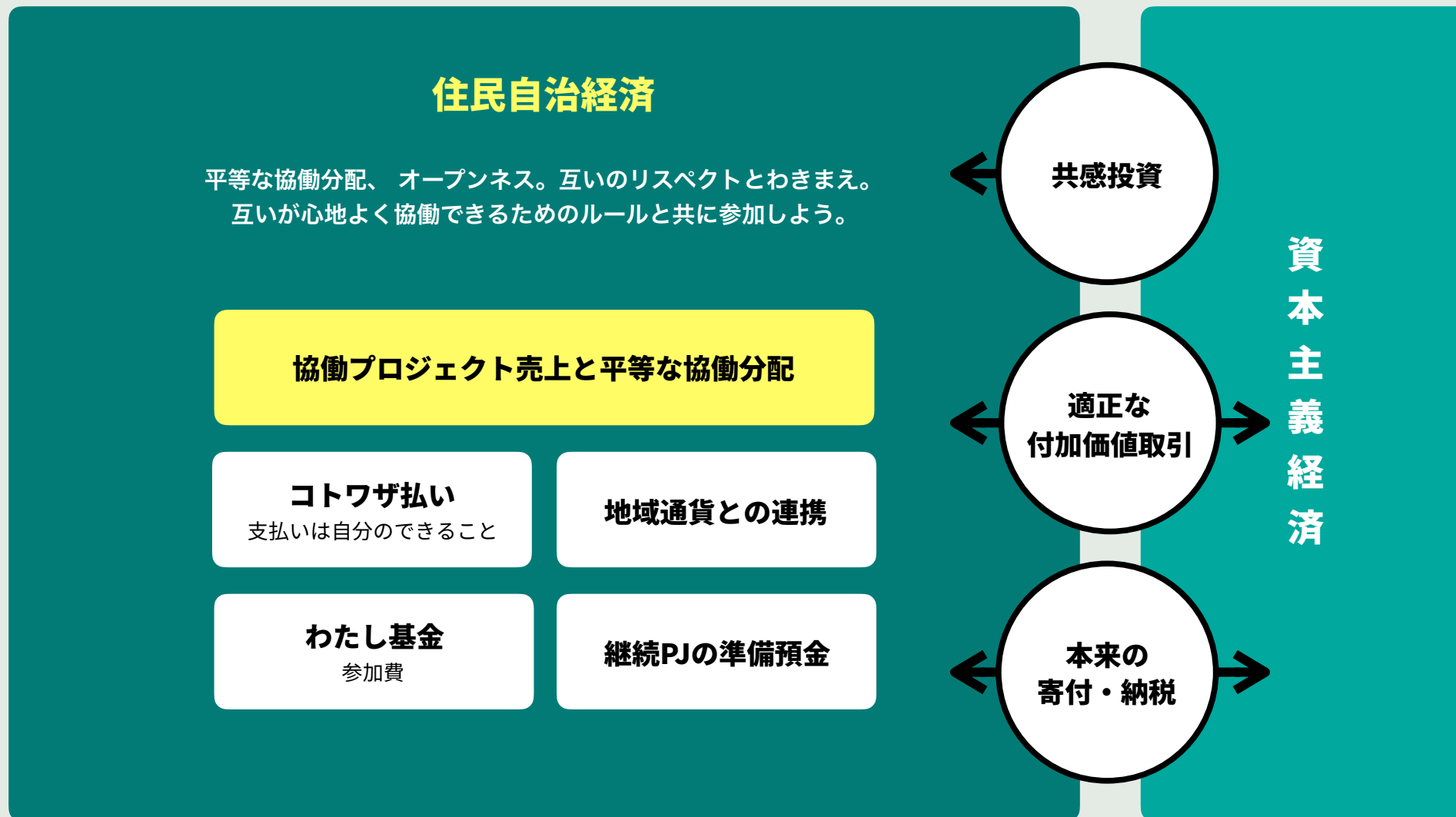
# 人間本来の「生きる力」を活かす、これからのプロジェクト



誰もが持つ「よりよく生きる基本的な能力」としての生きる力。自由存分に発揮することで、本来の身体感覚に立ち返る。オトナもコドモも遊び心にあふれ、古き良きものを伝承する。文化・くらし・しごと・学び・遊びが共存することで未来に生きる。

# 共感・感謝・つながりでお金が巡る、住民自治経済

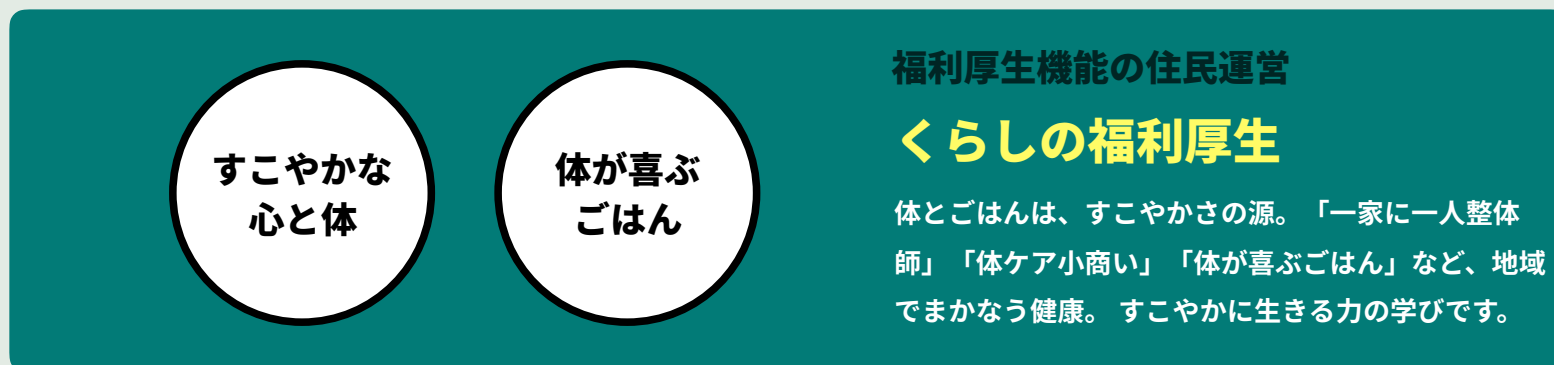
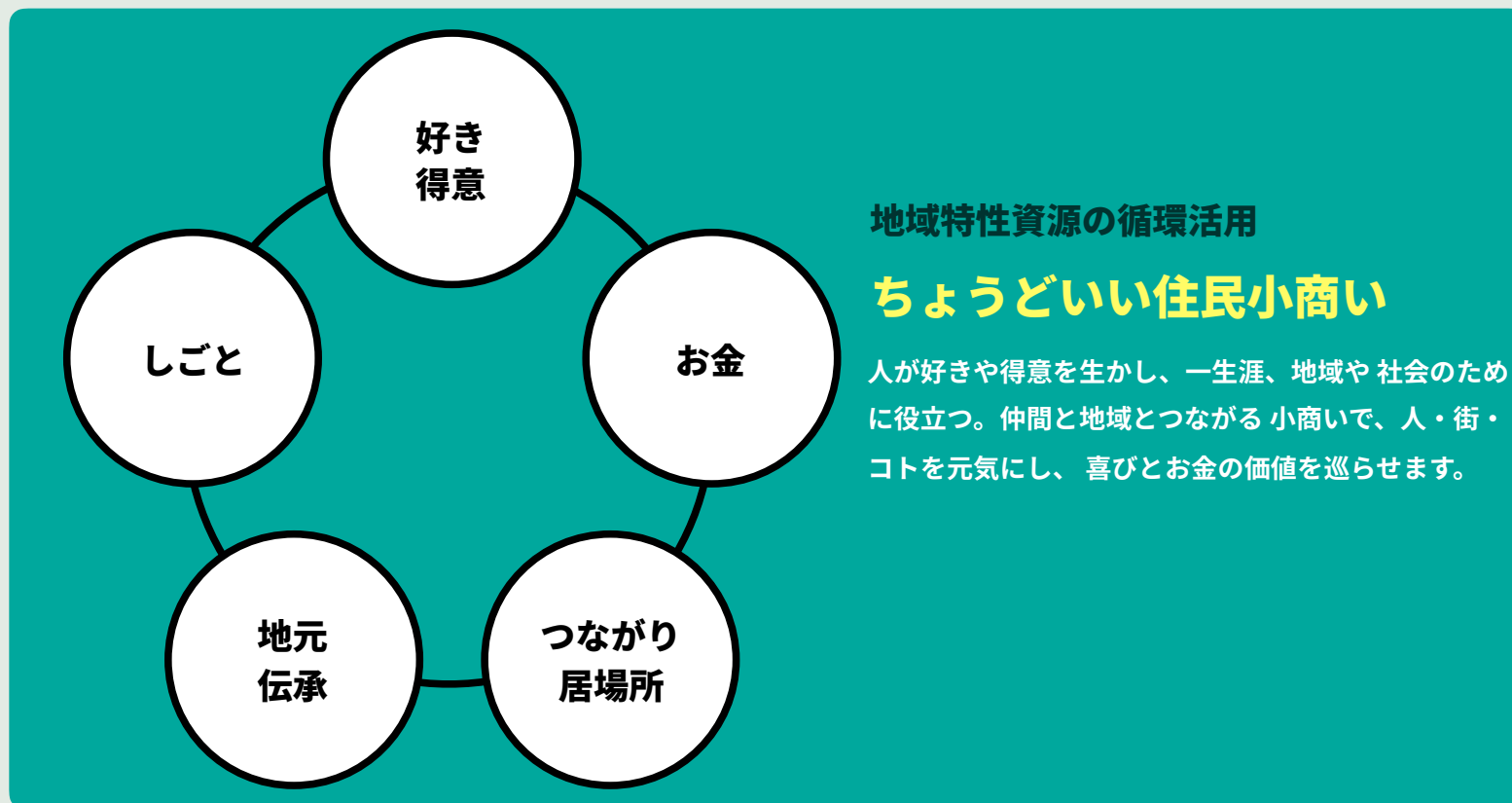
住民自治による協働プロジェクト・営利事業を営み、費用・利益は共同分配とする



外の経済と中の経済の組み合わせで、収益を地域内で巡る仕組み。

体感できる経済と安心な暮らしを実現しよう。

# 日々の暮らしを支える、安心サイズの小さいと生きた福利厚生



私たちは本能で、ちょうどいいを、もっている。



**私たちは「これから先」の暮らしと仕事へ円滑にシフトするためのお手伝いをする、コミュニケーションアーキテクトチーム。生きる力へとつながる様々な仕掛けを発信。人・生活・仕事・社会のこれからの扱い、暮らしと仕事をつなげてデザインします。**

私たちは、くらしのアトリエ、(仮称) みんなのまちづくり協働組合の企画運営を行なっています。

- 地域内外にある大切な活動や取り組みについての、ヒアリングリサーチとコンダクト
- 時代背景から見える様々なことを、多くの関係住民と協働できるよう、具体プロジェクトへと昇華
- エリアに必要な、場・コミュニティづくりのシステムを提案。応用の効くソーシャルデザイン
- 時代の課題・社会の課題への取り組み。住民・企業・行政が協働を行える環境整備



菱山直子（ひしやま・なおこ、局長）

素玄代表、くらしのアトリエ主宰。慶應大学環境情報学部卒業後、郵政省入省。これまで、日本郵便における通販1,000億事業責任者、資産運用コンサル、CI開発・ブランディング、広告宣伝、広告賞審査員、広報、店舗改革、デジタルビジネスに携わる。元鎌倉郵便局長（2010-2013）。

ここからの日本の社会の在り方を創造するために、20年余勤務してきた現日本郵便を退職後、素玄sogen/くらしのアトリエを始動。個人事業主として最初に「深田整体」の施術家としてスタート。目の前にいるたった一人の人を調える療術家として、現実的な人の現状に触れながら、生涯地域で人と社会に触れて楽しく暮らすため、困窮ポイントを知り解決のために導くことを、施術・コンサルティング双方で提唱している。



石井美穂（いしい・みほ）

20余年、自然療法であるフラワーエッセンスを主軸に、これまで延6,000人、心・体・仕事・生き方・環境を包括的に観るコンサルティングを現在も行なっている。企業にほぼ属さず、生活という最も基本的な営みの中で、育児・夫婦関係・介護・仕事・いじめ・病気に現れる心と体の「コミュニケーション不調」を解析・現実的解決へ導く。クライアントは、口コミによる一般の方のご紹介・実業家の方の事業・従業員フォロー・政財界等のアンダーフォロー等も経験。アトリエでは、総合窓口を受け持ちながら、生きるカビレッジの企画に邁進する。3回の結婚と5人の子の母。現在4歳の子育て・実母の介護・そして夫の営むダイニングバー「祖餐」のお勝手に立つ。



二藤部知哉（にとうべ・ともや）

魅力的なNPOや地域活動を紹介し、地域課題を共考しながら人とネットをつなぐ情報設計家。地酒のような「地ウェブ」(<http://future-archives.net/>)を、各活動に参加しながらつくり、地域力の向上サポートを行う。地域内活動の報酬を、美味しいごはんやお酒、困った時に助けてくれる券、空想通貨などに幅広く対応しながら、社会関係を高め、本質的豊かさの心地よさを提唱する。

武蔵野美術大建築学科卒業後、建築設計、CG、映像制作などを経て、インフォメーションアーキテクト、ディレクターに。これまで、トヨタ、三菱重工業、サンスター、リクルート、AGCの企業サイト及びグローバルサイトなど、大規模ウェブサイトの設計、編集、開発管理に携わっている。